

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 8 日

Table with columns for 事務事業名, 各市議会議長会関係事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details like '0999 議会関係' and '01 01 01 01 02 00'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about national and prefectural council activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '会議、研修会開催回数' and '議長・議員・職員'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for 投入量, 29年度(実績), 30年度(実績), 01年度(計画), and 期間限定総投入量. Includes rows for '国庫支出金', '事業費計(A)', and '正規職員従事人数'.

Table with columns for 事業費の内訳, 30年度事業費実績(千円), and 01年度事業費予算(千円). Includes rows for '04 共済費', '09 旅費', '14 使用料及び賃借料', '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, and 03年度の事業内容. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', '未来PJ事業', and '合併建設計画事業'.

事務事業名	各市議会議長会関係事業	事務事業No.	99909000310	所属課	市議会事務局
-------	-------------	---------	-------------	-----	--------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 旧町村から町村議会に参加していたが、平成17年10月に新市となり各市議会議長会に加入。
 平成24年度…茨城県市議会議長会理事
 平成25年度…全国市議会議長会地方行政委員会委員・広域行政圏市議会協議会理事・茨城県市議会議長会理事
 平成26年度…全国市議会議長会共済会代議員・全国広域連携市議会協議会理事
 平成27年度…全国市議会議長会評議員・関東市議会議長会理事

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 議会相互の共通課題や諸問題を会議で協議し、情報を交換することで市政に反映される。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地方自治法に基づき設置された議会であることから、市が支援するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 議会相互の共通課題や諸問題を会議で協議し、情報を交換している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 各種情報の把握、共通課題等の共有が難しくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 各市議会議長会規則により決定されるものであり、統廃合、連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 負担金については、各市議会議長会からの請求に基づき支出しているため削減の余地はない。また、議長に随行し各市議会議長会に出席する職員は、必要最低限の人数と時間で対応しているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 広域的な行政課題や国と地方との適切な役割分担など、国・県への要望を共同で行うため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果

①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)
 各市議会議長会主催の会議や視察研修会に参加することで、共通課題への取り組みや議会制度改革などの情報交換ができ、円滑な議会運営に大いに役立っている。
 今後とも、様々な会議や研修会等に積極的に参加し、地方自治に必要な情報の収集に努めていく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性

<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善
			<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる

(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持 低下		○	

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(6) 事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	-
コスト削減優先度評価結果	-

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>